

南小たば風通信 2018

平成30年 6月19日(火) 第8号

提案授業 5年生 国語科

「新聞記事を書いて、言葉と事実について考えよう」 事後研 記録

1. 授業者(山本先生・島村先生)より

- 意図的に組んだグループだったので、何とか発表ができた。
- ミニ黒板を使うのが好きな子が多い。
- 大括りに読む→教材文がしっかり理解できるかが心配。
- ICTを活用できればよかった。(後で思った。)
- 教えて考えさせる流れでもおもしろかったかも？!
- グループでの活動が好き・・・実態に合ったやり方で進めていければよい。
- 仕事の分担(T2の仕事は明確に!)を考えていければよいと思った。
- 姿勢もよく、発言もよく出ていたのでよかった。
- T・Tとして、どう支援していけたらよいか?自分の考えを持ちにくい子への配慮をしたが、自分で活動していけるような手立てを(必要に応じて)考えていきたい。



2. グループ協議

Aグループ

- ・記事の中の「よさ」に線を引かせるなど、どこの目をつけたらいいか?ヒントを与えるなど、ある程度のことを教えて考えさせる授業の流れも考えられる。
- ・「印象」という言葉が少し難しい感じを受ける。⇒「教科書にあるので使用した。」
- ・取り組むべき内容・・・「わかった!」「自分でも見つけられた!」「できる!」・・・自分が見つけた以外の所を他の子の意見を聞いてわかる・・・『新たな視点』となる。
- ・本当に子どもたちが理解できたか?気づけたか?・・・考えを比較する力
- ・T2の役割:話し合いがずれないようにさせる。教師が言うことも対話的、「わざと間違えて気づかせる。」というのもテクニック。

Bグループ

- ・グループの作り方がよかった。(リーダー的な子がうまく分かれていた。)
- ・深める段階で、必要なポイントや指示がしっかり通っていた。
- ・共通点をまとめたところもよい。
- ・『男の子』と『女の子』の記事の違いがしっかり捉えられていた。
- ・子どもの考えがしっかり認められていた。
- ・「まとめる」場面でのT2の活用:ノートの言葉を拾う役割を担うのも◎。
- ・小黒板(大きさ・消しやすさ◎)の活用もよかった。
- ・仮説との関わりを見やすく字体をかえるか、線で囲むなど工夫があった方がよい。

Cグループ

- ・キーワードに線を引ながらまとめたところ（視覚化）がよかった。
- ・まとめ：ふりかえり⇒学習内容に沿った仮説の検証になる。それている子には、次の時間からどう押さえていくかが大事になってくる。
- ・低・中・・・発達段階に応じた話し合わせ方
- ・「主体的・対話的 身につけさせたい力」が、一覧になっていて一目でわかるのがよい。
- ・指導案に毎時間の「めあて」を入れているのもわかりやすい。
- ・ピクトグラムは本時案の中にはいない。

3. 教頭先生・校長先生より

- 指導案にピクトグラムの図を使う・・・続けてほしい。
- 仮説⇒ つけたい力を明確に⇒ 互いの意見を比較する力
- 仮説を検証するとき、「3. 自分が受けた印象を理由とともに交流する。」が大事！
 - ☆子どもたちからどんな意見が出てくるかを予想し、見通しをもって話し合わせる。
 - ☆本文をしっかり読んで、考えを深めさせる。
 - ☆「3」番を活かすためには、「2」番をもっと大切にしていける必要がある。
- 仮説検証型の事後研になるよう進めてほしい。

- 指導案に入っているキーワードが全て使われていてよかった。
- 必要なポイントがわかり指示が的確だった。
- 南小モデルとなる よい授業だった。
- ICTの活用としては、P62を見せるだけでもよいのでは・・・。
- T2の役割⇒個を一人も見落とさないように「こうしてほしい！」とT1がリクエストを出してもよい。
- 子どもたちはのびのびしていて、クラスの風土ができてきている感じを受けた。

◆6月20日（水） 15：15～ サブルーム 「理論研修」を行います。

15：15～15：35 「主体的・対話的で深い学び」に関連する指導案・資料紹介

15：35～15：45 質問・意見

15：45～ 各ブロックに分かれて、公開研に向けての方向性（どの単元にするかなど）を検討してください。

※各ブロックで、終わり次第 解散してください。

◆6月27日（水） 15：15～ サブルーム 「4年生板書交流」

♥山本先生お忙しいところ たいへん貴重な「提案授業」ありがとうございました。次は、福山先生！お忙しいところとは思いますが、準備方よろしくお願ひします。